

発行／出雲市文化環境部環境政策課減量推進係 E-mail:kankyou-seisaku@city.izumo.shimane.jp

〒693-8530 出雲市今市町70 ☎0853-21-6988 FAX 0853-21-6597

3R促進ポスター コンクール作品紹介

平成25年度に環境省が「循環型社会」の実現に向けて、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の促進に関する啓発活動に資することを目的に募集した「3R促進ポスター」の応募作品を前回に引き続きご紹介します。



高松地区 ヤマオカ ヒロト
山岡 陽翔 さん



高松地区 カゲヤマ ヒサアキ
影山 久朗さん



すてきな作品を
どうもありがとう(^o^)

TOPICS! 出雲市



不要品がビックリ大変身！

～親子で楽しむ、夏休みエコチャレンジ講座～

親子でリユースについて関心を深めてもらおうと、7月26日（土）に出雲エネルギーセンターで、8月2日（土）に出雲環境センターで、「不要品がビックリ大変身～親子で楽しむ夏休みエコチャレンジ講座～」を開催しました。両日とも、出雲市ごみ減量化アドバイザーの伊藤美恵子さんと澄川千恵子さんを講師としてお招きいたしました。



熱心に米袋エコバッグの作り方の説明を聞く参加者



親子で協力しながら米袋エコバッグを作成

第1回目の『米袋を使ったエコバッグ作り』では、30kgのお米が入る紙製の米袋を、決まった長さに切ったり、ボンドで貼ったり、親子で協力しながらエコバッグを仕上げていきました。紙製の米袋は特殊な加工が施してあるため、古紙リサイクルができず、可燃ごみとして処理されています。そんな米袋を世界に一つしかないすてきなバッグに作り替えるのです。先生には、一組一組に丁寧に教えていただき、「ここは切らないでね！」「このひもも、大事な役目を果たすので、捨てないで使いましょう」などと、指導いただきながら、参加者全員が楽しい雰囲気の中でエコバッグを作ることができました。



いろんな色を使い分けて、飾り付けをする様子

第2回目の『空きびんを利用してトールペインティング』では、不要になった空きびんを使ってトールをしたり、ステンシルをしてかわいい小物雑貨を作りました。初めて体験された参加者が多かったようですが、先生の話に興味津々と耳を傾けながら、持ち寄った空きびんに思い思いの絵を描かれていまし

た。他にも、カブト虫や金魚・花などかわいい

ステンシルシート（絵柄を切り抜いた型紙）を利用し、スポンジの筆でポンポンと楽しそうに色付けをされていました。また、ペイントはびんだけではなく蓋にもトールをし、ニスを塗って素敵に仕上げられていました。

講座を受講した参加者からは、「ごみになるものから、バッグができた、小物入れができた、びっくりした」「捨てるものでもきれ



「こんな色もいいね」と、アドバイスを受ける様子

いに再生できることが分かり、とても勉強になった」「物を大切にすることに関心が持てた」「米袋バッグを実家の母にもプレゼントしてあげたい」といった意見が寄せられ、大好評の講

座となりました。

講座の後には、各施設の見学も行いました。出雲エネルギーセンターでは、ピット内（搬入されたごみが貯めてあるところ）を覗き込むようにして見ながら、「こんなにごみがあるんだ」などと驚きの声が聞こえていました。



びんの蓋をきれいに飾りつけする様子



教えて！ ごみの出し方！

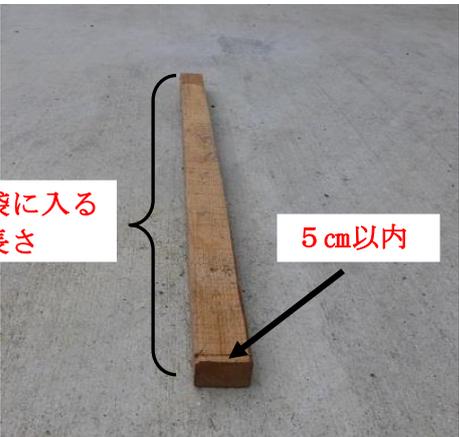
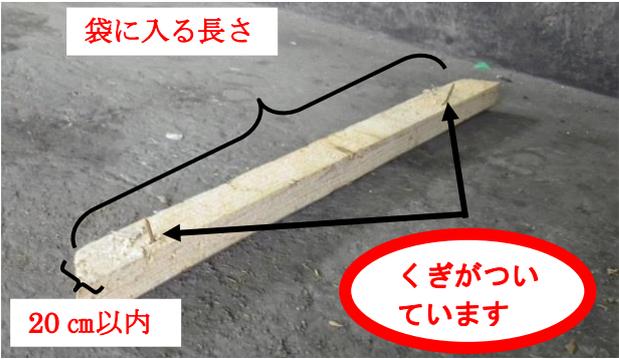
このコーナーでは、知っているようで知らなかったごみの出し方や、つつい起こつてしまうトラブルなどをテーマに分かりやすく解説していきます。

今回は・・・

木製品・角材などを出す時は、
大きさ・金属にご注意ください！



私たちがよく目にする「木くず（木材）」は、その形状によってごみの出し方がずいぶん変わる「実にややこしいごみ」です。そこで、前回に引き続き「木くず（木材）」の出し方について徹底的に解説していきます(^o^)

可燃ごみの「指定ごみ袋」で出す場合	破砕ごみの「指定ごみ袋」で出す場合
<p data-bbox="170 1332 788 1462">くぎ・金属は必ず外して、厚さ・幅・または直径を5cm以内にしてください。また、袋に全部入るようにしてください。</p> 	<p data-bbox="815 1332 1433 1507">金属のついたものや金具が外せないものは、こちらで出してください。直径は20 cm以内にし、袋に全部入るようにしてください。</p>  <p data-bbox="842 1928 1433 2013">※破砕ごみの袋が破れないように、くぎは打ちつけておいてください！</p>

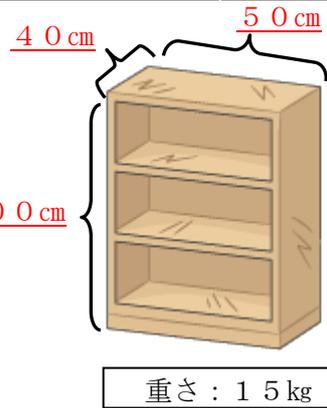
破碎ごみの「収集券」を貼って出す場合は…



- ①最長辺が1m以内で、たて・よこ・高さの合計が2m以内、かつ重さが20kgまでであれば、収集券を直接貼って出すことができます。

※氏名を書いて、
直接貼って出して

$$40\text{ cm} + 50\text{ cm} + 100\text{ cm} = 190\text{ cm} \quad (\text{2m 以内})$$



- ②木製品を解体し、ひもで絡んだ時に、最長辺が1m以内で、たて・よこ・高さの合計が2m以内、かつ重さが20kgまでであれば、収集券を貼って出すことができます。



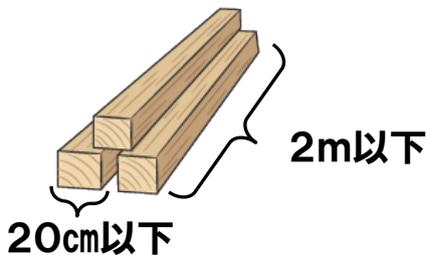
解体した場合



※それ以上の大きさや重さのものは、「粗大ごみ」として収集していますが、これにも出すときの決まりがあります。

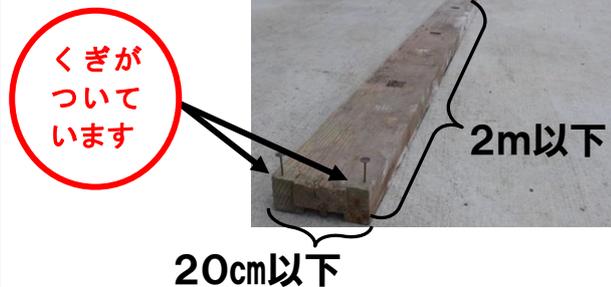
可燃ごみ処理施設（出雲エネルギーセンター）へ直接持ち込む場合

角材など棒状のものは、最大直径 20cm 以下かつ長さ 2m 以下にしてください。ただし、金属などのついたものは、受け入れができません。



燃えないごみ処理施設（出雲クリーンプラザなど）に直接持ち込む場合

角材など棒状で金属・くぎがついているものは、最大直径 20cm 以下かつ長さ 2m 以下にしてください。



～直接施設へ搬入される方へのお願い～

施設への直接搬入では、**決められた直径・長さを超えるものを持ち込まれる事が多々あります。**搬入された木材などは、細かく裁断処理をしますが、決められた大きさを超えるものは、裁断機に入れることができないため、受付できません。**あらかじめ短く切るなどして搬入してください。**

突撃！ごみ減量化レポート！

このコーナーは、皆様のご家庭や職場でごみ減量をどのように工夫して実践しているかを紹介し、紹介するという情報コーナーです。

今回は、島根県環境生活部環境政策課で3Rを担当している植田さんにごみ減量の取り組みの一つを取材させていただきました。

ごみを減らす取り組みを何かご紹介していただけませんか？

はい。秋は地域のお祭りやイベントが多く開催される季節です。

飲食の際に紙製などの使い捨て容器を使うと、食器を使い終わった後は、燃えるごみで捨ててしまうことになります。使い捨て容器は安価で気軽に利用できますが、使った後にごみになってしまうことを考えると、とてももったいないことをしていると思いませんか。そこで島根県ではごみの減量を図るため、繰り返し使用できるリユース食器の普及を推進しています。「使い捨てのライフスタイルを見直し、ものを大切に使う心を伝える」代表的な取組で、主に下の食器が使われています。



このリユース食器はどこで借りることができますか？

現在、県では貸し出しはしていません。一般財団法人地球・人間環境フォーラムに事務局があるリユース食器ネットワークに加入しているリユース食器取扱業者から調達ができます。現在、出雲市から一番近いリユース食器取扱業者は鳥取県米子市にある下記のところです。リユース食器を取扱業者から借りる際に使用実績に応じて料金が発生したり、お取り寄せにあたって送料も必要になりますので、サービス等も含めて直接取扱業者にご確認ください。

業者名	所在地 電話・FAX	サービス内容（抜粋）		
		対象イベント 規模	保有 食器	返却時の 洗浄
社会福祉法人養和 会 エポック翼	〒683-0804 鳥取県米子市米原 1460-7 TEL:0859-36-2005 FAX: 0859-36-2007	1,000名以内	皿 どんぶり カップ はし等	洗わずに返 却できる



島根県では使われたことがあるのですか？

バスケットボールプロリーグで活躍している島根スサノオマジックの、2013-2014シーズンホーム試合で出店している10店舗のうち、7店舗にご協力いただいて、使い捨て容器に替えてリユース食器を使ってもらいました。その結果、全シーズン15日(試合)で6,483点のリユース食器を使い約57kgのごみを削減しました。リユース食器(箸、スプーンを除く)1点を使うと使い捨て容器と比べ二酸化炭素発生量は1/5となるので地球にも優しいです。今回は、約300kgの二酸化炭素を削減することができました。これは杉の木21本が1年間に吸収する二酸化炭素量に匹敵します。料金は2日分(集客人数3,500人程度)で約41,000円程度でした。他県では料金をスポンサーが負担したり、イベント主催者・来場者・出店業者が少しずつ負担する取組も行われています。

イベントに自然とリユース食器が使われるようになるといいですね(^o^)

イベントはまず楽しむことが一番で、その中でも飲食は欠かすことができない楽しみの1つです。楽しい場所では、ごみの山を見たくないのも、イベント運営の工夫の一つとしてリユース食器を使って来場者も出店業者も主催者も喜ぶ楽しいイベントが県内各地に増えるといいと思います。



島根スサノオマジックのホーム試合会場でのリユース食器返却所の様子

このたび島根県から、見本としてリユース食器を出雲市に提供いただきました。

市役所環境政策課(本庁5階)で展示していますので、興味のある方はぜひお手にとってご覧ください。ごみの出ないお祭りやイベントが、なんて気持ちのいいことか是非実感してみてください。

詳しいことについては…

島根県環境生活部環境政策課

低炭素・循環型社会推進スタッフ「リユース食器」担当まで (☎0852-22-6443)

環境政策課 HP 「リユース食器はイベントのごみを減らす強い味方です」

<http://www.pref.shimane.lg.jp/environment/kankyo/kankyo/junkan/eventgomi.html>



働くオジサン! こんにちは!

このシリーズは、ごみ処理の現場で働いていらっしゃる職員さんから、市民の皆様へ生の声を伝えるためのコーナーです。

今回は、平田不燃物処理センターの嘉藤さんと三原さんにお話を伺いました。

十六島町にある燃えないごみの処理場「平田不燃物処理センター」で勤務されている(株)まるふく商事の嘉藤さんと三原さんは、平田地域から搬入される破碎・埋め立てごみに詳しい、ごみ処理のスペシャリストです。毎日のごみ処理にお困りのことはありませんか?



平田不燃物処理センター

「はい。ごみの分別については、皆さんにご協力いただいているところですが、時々気になるごみが見受けられます」

それは、どのようなごみですか?

「例えば、破碎や埋立のごみ袋の中に、収集業者も分からないように燃えるごみが混入していたり、埋立のびんに中身が入ったままのものがあつたりしま
(※1)

す。そのような時は、中身をきれいに出さなくてはならず、手間と時間がかかってしまいますね…。その他にも、灯油が

嘉藤さん(左)と三原さん(右)

入ったままのストーブや、エア抜きがしてないスプレー缶などがあります。一番怖いのは火災ですので、一番神経を使って処理しています。
(※2)

そうですね。捨てる時もルールを守って責任ある廃棄をお願いしたいですね。その他

に何かお願いしたことはありますか？



収集または直接搬入によって持ち込まれた破碎ごみに3R（スリーアール）ですね！リデュース（ごみの発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（ごみの再生利用）をいつも心に、毎日生活する必要がありますね。

今回は、貴重なお話を伺うことができ、本当にありがとうございました。

（※1）「びんの中身が残った場合」は、必ず中身を出してください。例えば、賞味期限が切れたジャムが残った場合は、水分があればしっかり切って、中身は燃えるごみに出してください。

（※2）「スプレー缶」は、くぎなどで穴をあけて、完全に中身を出し切ってください。

「はい。この施設は昭和 63 年に竣工したのですが、埋立場の容量には限りがあります。捨てる前にまだ使えないか、リサイクルできないかを考えていただきたいと思います。また何よりも、“物を大切に作る心”を捨てないでほしいですね。」

本当におっしゃるとおりです。まさ



一つずつ解体をして、分別する作業の様子

【平田不燃物処理センター】

平田地域の燃えないごみを処理する施設。

○住所：出雲市十六島町 1485 番地 2 Tel66-0805

○受付時間：月～金 8:30～16:30

土 8:30～11:30（日曜日・祝日・12/30～1/4 は受付しません）

お知らせ～information～

古布の回収をします



市では、リユース（再使用）できる古布を、次の日程で回収します。

回収された古着等は、業者を通じて海外へ輸出され、必要とされている国々でリユースされます。また、ごみの減量にもつながりますので、ぜひ、この機会をご利用ください。

と き：平成26年10月4日（土）

ところ：出雲市役所 各支所駐車場

- ① 平田支所 午前9時～午前10時
- ② 大社支所 午前10時30分～午前11時
- ③ 多伎支所 午後1時～午後1時30分
- ④ 佐田支所 午後2時～午後2時30分
- ⑤ 湖陵支所 午後3時～午後3時30分

◎回収できるもの ▷折りたたんで、まとめて中身の見える透明なビニール袋に入れてください

洗濯がしてあり、リユース（再使用）できるものに限り、汚れ（シミ等）や変色、においがなく、擦り切れたり穴が開いていないこと、補修していないもの、ファスナーやボタン・縫付などに損傷がないもの、ネームがないことが条件です。

- シャツ類（Tシャツ・ポロシャツ・肌着・ブラウス等）
- ジャージ・トレーナー・スウェット・セーター
- スラックス・ジーンズ等・ジャケット・スーツ・コート等
- ワンピース・スカート等
- ぬいぐるみ・ハンカチ・エプロン・ネクタイ・マフラー等



×回収できないもの

ふとん・シーツ・タオル類・じゅうたん・カーペット・カーテン・作業着・学生服・靴下・
下着類・反物・ハギレ・雨合羽・スキーウェア・ゴム製品など



出雲エネルギーセンターからのお願い



出雲エネルギーセンターには、収集または、直接搬入により連日たくさんの可燃ごみが持ち込まれていますが、その中には、依然として金属類などの不適物の混入が相次いでいます。

今年8月には、4件の金属片混入があり、機械が停止しました。これによって、搬入されたごみの処理ができなくなることはもとより、破砕機等が損傷した場合には、膨大な修理費がかかります。

このような事故を未然に防ぐため、ごみを出される市民・業者のみなさまには、可燃ごみに金属類などが混入しないよう、引き続き分別の徹底をお願いします。

<p>草刈機の刃</p>	<p>釘抜き</p>
<p>スプーン</p>	<p>傘の骨</p>

ごみ減量啓発ビデオ (DVD) を貸し出します ～分けて減らそう 家庭からのごみ～



ミコトッキー

ごみ減量啓発ビデオ「分けて減らそう家庭からのごみ」(約20分間)を作成しました。出雲市トキ分散飼育センターのマスコットキャラクター“ミコトッキー”が、ごみの分別の仕方などをわかりやすく説明しています。貸し出しをご希望の方は、出雲市役所環境政策課(Tel 21-6988)までお問い合わせください。☆出雲市 You Tube 公式チャンネルにも、掲載しています。詳しくはこちら→

http://www.youtube.com/watch?v=4xdUx5q_kJA&list=UUJzc2QFlbF407vmSeVAjKZg

または、

分けてから減らそう家庭からのごみ 出雲市



検索



で検索してください。



ごみに関する エトセトラ



シリーズ「ごみに関するエトセトラ」は、私たちの生活の中に意外と身近にあるごみについて語る雑学コーナーです。今回も「ことわざ」の中にある「ごみ」についてご紹介します。

「ことわざ」とは、観察と経験そして知識の共有によって、長い時間をかけて形成されたものです。その多くは簡潔で覚えやすく、言い得て妙であり、ある一面の真実を鋭く言い当てていたりします。そんな「ことわざ」の中には「ごみ」を含んだものが案外たくさんありますが、決して悪い意味ばかりではありません。

今回は・・・

くず たから 「屑も宝」

非常にシンプルなことわざですが、意味としては「くずのようなものでも時には役に立つことがある」ということです。

これは、いわゆる「ごみ屋敷の問題」のように社会通念上ごみだと思われるものを「これは廃棄物ではない！私にとってはお宝（有価物）だ！」と主張し（これを「有価物抗弁」と呼んでいます）、他人に迷惑をかけるような行為を言っている訳ではありません。念のために(^_^;)

いつもなら何の気なしに捨てているごみも、使い方を変えたり、友達に譲ったりすれば、まだまだ役に立つことがあるのです。「無用の用」という有名な言葉もありますが、「役目が終わった」と考えることは、一面的な見方かも知れませんね。



【都合により、「リサイクルは先人に学ぶ」は休載します。】